

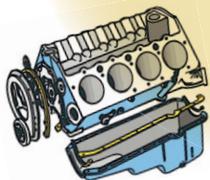


# 高P連だより

〒060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目1番 第二北海道通信ビル7F  
TEL (011) 232-0007 FAX (011) 232-0006  
URL : <http://www.hokkaido-koupren.com/>

## 今号の内容

- ▶シリーズ「北の志」  
北海道尚志学園
- ▶第58回定通生活体験発表大会
- ▶交通安全標語・ポスター入選作
- ▶北海道シンポジウム
- ▶支部だより(北見支部・道南支部)
- ▶高P連全国・全道大会要項(案)

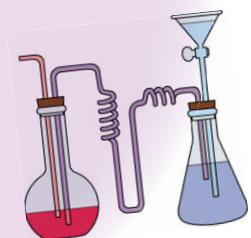


## Heart to Heart 北の志 —ひたむきに頑張る君たちを応援したい—

高P連だより「北の志」は、各分野で社会貢献をめざす高校生に焦点をあてて、農業高校・水産高校、今年度の締めくくりとして、工業学科系のある北海道尚志学園をとりあげました。



だべ ...





## 最優秀賞

# なぜばなる

北海道有朋高等学校 単位制課程 三年次 岡本秀美



## 第58回道高校定期生徒生活体験発表大会

私は以前、有朋高校ではない別の高校に在籍していましたが、入学早々に病気を発症し登校できなくなりました。幼稚で不器用だった当時の私は、自分の置かれた現状に対処することができませんでした。自身の無力さを実感し、体を起こしていることさえも困難な容態を悲しみ、生まれて初めて「生きることは何なのか」を真剣に考えるようになりました。

私はまもなくして高校を休学することになりました。しかし、周囲からの励ましに勇気づけられ、希望を持って治療に専念できました。たくさん励ましの中でも「苦しんだからこそ、人の気持ちがわかるようになつた。だから悲しむ人を励ましたいと思うんだ」と聞いた時、心を打たれました。「私も苦しい現状を乗

り越えて、悩み悲しむ人達が前進できるよう希望を与える人間になりたい。そのため『生きていきたい』と思いました。この考えが私の「原点」であり、今でも私を支え続ける「軸」となりました。

その後、自身の体調を考慮し在籍していた高校を退学。新天地として有朋高校に入学しました。約半年ぶりの学校生活は楽しみであるとともに、とても不安でした。

二つ目の不安要素は勉学に励むこと。前籍校は授業の進度が早く、睡眠時間を削つて勉強しなければ周りにおいていかれるほどでした。そのストレスが病気を発症した原因の一つであつたことから、有朋高校での授業中も強い恐怖に襲われて逃げ出したい思いでいっぱいでした。「病状が悪化し学校に通えなくなるかもしない」という三つの不安が頭をよぎります。しかし「臆病な心を乗り越えて、大きく成長しよう」と決心し、どんなに体調が悪くても必死に高校へ通い続けました。そうした努力を続けたこと、何より先生方の細やかな気配りもあり、次第に勉強や授業への恐怖は薄れていきました。また月日を経るごとに病状は少しずつ回復していく、高校三年生になつた現在は

理由の一つ目は人間関係です。中学生の頃、はぶかれていた友人と親しくし続けた結果、今度は自分がはぶかれるとということがありました。事態はすぐに收拾しましたが、それから人と接することが恐くなつてしましました。しかし「友人と普普通に、楽しく話せるようになりたい」との思いが勝り、積極的に人に声をかけるよう努めました。すると、何の気兼ねも無く話せる友人達ができるました。自分の居場所があること、大きな幸せを感じました。

私は前まで体調を崩しやすかつた私は、多忙な日々を乗り越え切つたことで、以前よりも広い心を持って行動できるようになりました。二つの出来事から得られた自信を胸に、八月は美術コンクールに出展する作品を制作しました。制作期間は約二週間と短いもので、大変でしたが、その分得られた充実感は大きいものでした。そして努力が実を結び、私のクラスは装飾部門で最優秀賞を受賞。作品が表彰されたということは、友人達と協力し合つて作品を作り上げた「過程」もまた、表彰されたといえます。

そのことは何にも勝る喜びでした。私が所属する「ここわらねつと」というボランティア団体は、「生きることの大切なもの」をみせて、自分自身と大いに向かい、「生きる指針」を見出すことができました。有朋高校では勉強以

健康であることに感謝しながら毎日を過ごしています。

今年の夏は、学校祭の準備と私が所属するボランティア団体の活動、美術部での作品制作が重なり、とても慌ただしい日々を送りました。

学校祭で私のクラスは校内装飾の担当でしたが、クラスメイトの多くはアルバイトなどで忙しく、準備に参加できるのはほんの数人でした。しかし、高校生活最後の学校祭で良い思い出を創りたいと思い、私が責任者として少人数でも一生懸命準備に取り組みました。日中は授業を受け、その後夜の八時まで装飾を作り、一時間半かけて帰宅する。そして翌朝の五時に起床して登校するという日々を繰り返しました。とても大変でしたが、その分得られた充実感は大きいものでした。そして努力が実を結び、私のクラスは装飾部門で最優秀賞を受賞。作品が表彰されたということは、

ア団体は、「生きていく支援」を目的に結成されました。その活動の一環として、「現代社会の生きづらさを考える勉強会」を開催することになりました。私は勉強会の中心的役割を担い、学校祭準備の合間に縫つて企画、運営に奔走しました。

努力の甲斐あって、勉強会は大成功。参加者の方々から「いい勉強会だった」という言葉を頂けました。

少し前まで体調を崩しやすかつた私は、多忙な日々を乗り越え切つたことで、以前よりも広い心を持って行動できるようになりました。二つの出来事から得られた自信を胸に、八月は美術コンクールに出展する作品を制作しました。制作期間は約二週間と短いもので、大変でしたが、その分得られた充実感は大きいものでした。そして努力が実を結び、私のクラスは装飾部門で最優秀賞を受賞。作品が表彰されたということは、

外にもたくさんのことを行いました。寝たきりだった状態からここまで回復し成長できたのは、友人達や先生方の温かな心配り、そして私を信じ見守り続けてくれた家族の支えがあつたからです。私も人の心に寄り添える人間になるれるよう、現在医療職である作業療法士を目指し、大学進学を目指して勉強に励んでいます。この目標を胸に携え、弛まらず努力していきます。

数々の悩みや困難を乗り越えたことで、大きく成長できたのです。だから私は、自分の境遇を不幸であるとは思いません。本当に恵まれて幸せ者だと胸を張って宣言できます。自分自身の原点、感謝の気持ちを心に留め、自分が信じた道を歩みぬいていく決意です！



# 標語

**最優秀賞**

**イヤホンがせまる危険の音を消す**

**目指すのは無事故という名の当たり前**

岩見沢緑陵高等学校  
伊達銀丘高等学校  
3年 山本貴大  
佐藤 格

◆遅れても急ぐな飛ばすな周り見ろ  
◆エブリワン 安全運転 エブリディ

足寄高等学校

2年

佐々木 春香

足寄高等学校

2年

佐々木 春香

交通安全標語・ポスター入選作

高校生

## 交通安全標語・ポスター入選作

(高等学校長協会提供)



### 交通事故死ゼロをめざして

北海道高等学校長協会会長 富田敏明

昨年の北海道における交通事故の犠牲者は一八四人でした。

交通事故による死者数がピークであった昭和四十六年の八八九人と比べると五分の一まで減少はしているものの、依然かけがえのない生命が失われたり、負傷を余儀なくされたりする方が後を絶たない状況に大変心が痛みます。

今年も交通安全関係諸団体が一体となり、「ストップ・ザ・交通事故死ゼロめざせ安全安心な北海道」をスローガンに、交通事故防止活動に取り組んでいます。しかしながら、交通事故を減少させようとの思いも空しく、高齢者並びに高校生を含む若年者の交通事故の痛ましいニュースが続いている

います。

こうした中、本協会では、調査研究部学校安全小委員会が中心となり、高校生が自らの命と他者の命を大切にする交通マナーを身に付けて、交通事故の危険に対する感受性を高めることを期待して「交通安全標語ポスターコンクール」の事業を続けており、今年で三千三回目を数えております。

今年の応募状況は、標語が五十一校から七二九作品で、ポスターは二十三校から八十五作品が寄せられました。応募いただいた生徒の皆さんと指導に当たられた先生方に、厚くお礼を申し上げます。

これらの貴重な応募作品につきましては、外部審査

員の皆様に慎重な審議を行い、本紙に掲載したところです。受賞された生徒の皆さんに心より敬意を表します。本作品集並びに最優秀

の標語とポスターは、交通

安全を志す本道高校生のメッセージとして、道内の全ての高等学校と関係の機関、団体並びに関係報道機関にお届けいたします。

終わりに「交通安全標語・ポスターコンクール」の事業の推進に当たり多大なお力添えをいたしております。

北海道高等学校 P.T.A.連合会並びに関係の機関、団体

の皆様に心から感謝を申し上げ、発刊に当たつてのご挨拶といたします。

子どもを取り巻く人間関係の回復と社会環境の充実を目指してとの主旨で、平成二十年度に第一回目が開催された「北海道シンポジウム」も今年で七回目を向かえた。この間、さまざま

な講師を迎えて、子どもたちの健全育成を目指して行われてきたが、その社会的役割を果たし、今年が最後の開催となつた。

本校で、当番校を受けるにあたり、道内外で活躍される、精神科医であり、立

教大学現代心理学部映像身

患者も、幼少期に褒められ

た経験が少なかつたことに言及した。子どもの頃の成育環境が、その後の人格の形成に大きな影響を及ぼすとし、子どもたちが「自分

はここにいていいんだ」「この社会に必要とされている」という実感が持てることが必要だと話された。

一方、大人に対しては、

カウンセリングを行った家

庭をモデルに、「親がしつ

## 子どもたちのメンタルヘルス向上支援事業 北海道シンポジウム 演題「子どもの心をのぞいてみれば」

子どもたちの心をのぞいてみれば

北海道シンポジウム

2014年10月13日(月)

立教大学現代心理学部映像身体学科教授 香山リカ氏(精神科医)

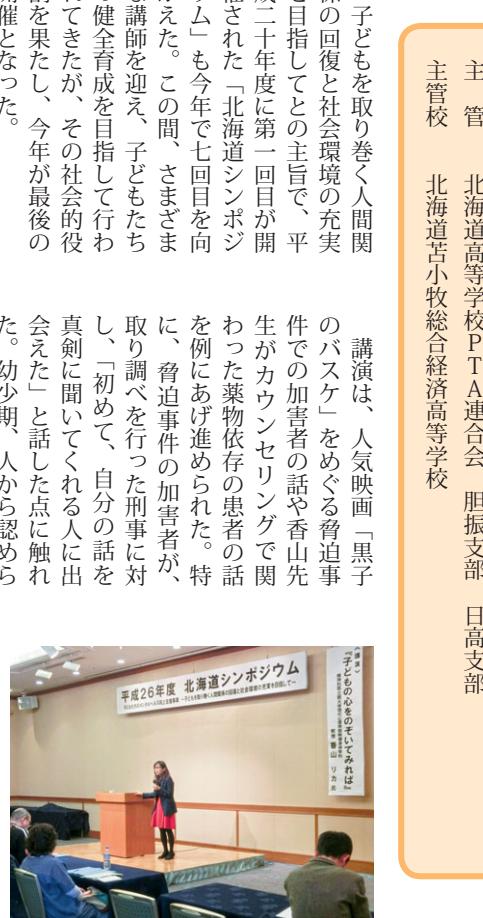
講師 平成26年10月13日(月)

会場 グランドホテルニュー王室若草の間

主管 北海道苦小牧総合経済高等学校

主幹 北海道苦小牧総合経済高等学校

主管 日高支部



子どもを取り巻く人間関係の回復と社会環境の充実を目指してとの主旨で、平成二十年度に第一回目が開催された「北海道シンポジウム」も今年で七回目を向かえた。この間、さまざまな講師を迎えて、子どもたちの健全育成を目指して行われてきたが、その社会的役割を果たし、今年が最後の開催となつた。

本校で、当番校を受けるにあたり、道内外で活躍される、精神科医であり、立教大学現代心理学部映像身体学科教授の香山リカ先生をお迎えした。参加者は、北海道各地を始め、胆振・日高支部の小・中・高のPTA関係者約一六〇名が集まつた。

講演は、人気映画「黒いバスケ」をめぐる脅迫事件での加害者の話や香山先生がカウンセリングで関わった薬物依存の患者の話を例にあげ進められた。特に、脅迫事件の加害者が、取り調べを行つた刑事に対し、「初めて、自分の話を真剣に聞いてくれる人に出会えた」と話した点に触れた。幼少期、人から認められたという実感を持てないまま大人になつたことが、今回の悲劇を生んだのではないか、また、薬物依存の患者も、幼少期に褒められたりしないといけない」と思ひ込み、余裕がなくなる方が多いが、これは、逆で、「親が余裕を持つて、自分の趣味などに楽しく生活することが子どもにも良い影響を与えて、大切なことを教える」とのアドバイスを頂いた。

かりしないといけない」と思ひ込み、余裕がなくなる方が多いが、これは、逆で、「親が余裕を持つて、自分の趣味などに楽しく生活することが子どもにも良い影響を与えて、大切なことを教える」とのアドバイスを頂いた。

大変貴重な講演をいたしました香山先生をはじめ、ご協力いただいた関係の皆様に心から感謝申し上げ、報告させていただきます。

苦小牧総合経済高校

教頭 河田 章宏



「オホーツクより」

北見部

北見支部はオホーツク海に面する地域にござります。夏は知床の自然に楽しむことができ、冬は日本ではこの地域しか見ることのできない流氷がやってくる場所でございます。本年度はいつもより早く流氷が到達し、海一面を覆う流氷を求めて多くの観光客に足を運んでいただきました。

北見支部は現在二十六校、二十九の単Pで構成されております。

本年度の北見支部の事業として、五月に北海道PTA連合会北見支部総会（網走市）、十月に北海道PTA連合会北見支部研修会（遠軽町）を行いました。

五月十六日に行われました北見支部総会では、北海道高等学校安全互助会事務局次長の青陽哲也様をお迎えし、平成二十七年度より実施予定の北海道高等学校安全互助会についてご説明びグループ協議を行いました。

十月十八日に開催されました北見支部研修会では、講演会とPTA実践発表及

活発な意見交換が行われました。研修会後に行われました懇親会ではビンゴ大会（景品・遠軽町特産野菜など）、じゃんけん大会（景品：安彦様直筆機動戦士ガンダムのサインイラスト三枚）で大いに盛り上がり、親睦を深めました。

平成二十七年度は第6十五回北海道高等学校PTA連合会大会が北見市で開催されます（平成二十七年六月十三～十四日）。主に、皆様に楽しんでいた管校となる北見北斗高校を中心にはじめ北見市内の高校を中心、皆様に楽しんでいただけるよう準備をしている



## 「今、親として

道 南  
支 部

道南地方も、暖かい爽やかな風がふく季節になり、桜のつぼみが春をつげています。

道南支部では昨年四月から事務局を北海道函館水産高等学校から北海道函館西高等学校が引き継ぎ、五月至三十一日（土）にマリエール函館において、道南支部三十二校三十四単Pの方々にご参加をいただきました。これに、北海道高等学校PTA連合会副会長村上義人様のご出席ご挨拶をいただき道南支部総会を開催いたしました。総会は無事終了しました。その後の教育懇話会では笑いと歓声の中、活発な意見交換が行われ、各単P間の親睦が深められ、とても楽しいひとときを過ごすことができました。



道南支部長 北代 惠美子

道南支部長 北代 恵美子  
(北海道函館西高等学校 P.T.A 会長)

十一月二十七日(木)は北海道函館稜北高等学校の主管のもと道南支部研修会が一六〇名の皆様の参加で開催され、曹洞宗讐淨中院正覚院ご住職松村俊昭老師様より「今、大人たちは」と題して、「子どもは親の背中を見て育つもの、親の後ろ姿がしつけであり、礼儀であり、感謝の気持や他人への思いやりを育むことになる」とのお話をいたしました。続いて函館白百合学園中学高等学校PTA研修部部長森田智鶴様と副部長の中村陽子様よりPTA活動についてご提言をいただき、白百合学園さんの

また、八月八・九日（金・土）には一泊二日の日程で高校生や保護者、教員など四十八名の参加者が少年自然の家ネイパル森に集い「高校生と語るつどい」を実施しました。テーマは「いのちのお話をつくろう。小さな子どもたちに伝わる言葉で！」です。講師に絵本作家のあまさかゆう様を迎えて、命についての講演や意見交換、絵本づくりに取り組み、発表会では多くの感動と涙の中、命について心を寄せることで改めて母や父のすばらしさを感じ、「命は次の世代に繋いでいかなければならぬ、かけがえのないものである」と学びました。

十一月二十七日（木）には北海道函館稜北高等学校の主管のもと道南支部研修会が一六〇名の皆様の参加で開催され、曹洞宗獄淨山

JA活動に参加者全員が感動いたしました。渡島教育局吉田昌幸主査からは、PTA活動は保護者同士の交流を深めるとともに、学校や地域社会の活性化にも繋がる良い機会であるとのご助言をいただき、とても充実した研修会となりました。

今後も道南支部では、これから地域社会や日本を担う高校生に、保護者が集い、学びあい、大きな輪を作つて、高校生の課題に正面から取り組み、親として、大人として、そして先輩社会人として、今何をしてやれるのか、どんな後ろ姿を見せてやれるのか、支部の皆様のご協力のもと、更に充実したPTA活動に取り組んで参りたいと思つております。



## 第65回

## 全国高等学校PTA連合会大会 岩手大会要項(案)

## 【大会趣旨】より抜粋

今、子どもたちを取り巻く環境が大きく変わってきております。急激な社会の変化、IT革命の進展、マスメディアの発達の中で、子どもたちは何を手にして何を失ってきているのだろうか。自分は何を考え何処を目指すべきか、子どもたち自身が確信を持てずにうろうろしていることがないだろうか。

今こそ、子どもたちに「未来圏から吹いてくる透明な清潔な風」を頬に感じて欲しい。手をかざして進むべき彼方を見つめて欲しい。そして奮い立って欲しい。そのような思いから、メインテーマは「未来圏からの風をつかめ!」と定めました。

## 大会テーマ

## メインテーマ

『未来圏からの  
風をつかめ!』

## サブテーマ

～新時代を担う君たちと共に～



## ● 日 時 平成27年8月20日(木)・21日(金)

| 時 間     | 8月20日(木)                           | 時 間       | 8月21日(金)  |
|---------|------------------------------------|-----------|---|
| 8:30    | 受付                                 | 8:30      | 受付  |
| 9:00    | アトラクション<br>9:00～9:30 (30分)         | 9:00      | アトラクション<br>9:00～9:50 (50分)                      |
| 10:00   | 開会式<br>表彰式<br>9:40～10:40 (60分)     | 10:00     | 記念講演<br>10:00～11:10 (70分)<br>講師：大友啓史氏<br>(映画監督) |
| 11:00   | 基調講演<br>10:50～12:00 (70分)          | 11:00     | 閉会式<br>11:20～12:00 (40分)                        |
| 12:00   | 昼食<br>アトラクション<br>12:20～12:50 (30分) | 12:00     | 終了  |
| 13:00   | 移動・受付<br>12:50～14:00 (70分)         |           |   |
| 14:00   | 分科会・テーマ・閉会式会場                      |           |   |
| 15:00   | 分 科 会                              | テ 一 マ     | 会 場 (閉会式会場)                                     |
|         | 全国高P連研究発表                          | 全国高P連研究発表 | 岩手産業文化センター(アピオ)<br>(2,500名)                     |
| 第1分科会   | 学校教育とPTA                           |           | 盛岡市アイスアリーナ<br>(1,500名)                          |
| 第2分科会   | 進路指導とPTA                           |           | 岩手県民開館<br>(1,500名)                              |
| 第3分科会   | 生徒指導とPTA                           |           | 盛岡市民文化ホール<br>(1,500名)                           |
| 第4分科会   | 家庭教育とPTA                           |           | 盛岡グランドホテル<br>(1,000名)                           |
| 特別第1分科会 | 情報化社会と教育                           |           | ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング<br>(1,000名)                 |
| 特別第2分科会 | 防災教育・復興教育                          |           | 都南文化会館(キャラホール)<br>(1,000名)                      |
| 17:00   | 1日目終了                              |           |   |

※詳しくはホームページの「大会概要」を参照

<http://taikai.iwateken-kouren.org/>  
「全国高P連大会岩手大会」で検索!

## 第65回

## 北海道高等学校PTA連合会大会北見大会要項(案)

- 主 催 北海道高等学校PTA連合会
- 後 援 北海道教育委員会 北海道高等学校長協会 北見市 北見市教育委員会(予定)
- 主 管 北海道高等学校PTA連合会北見支部
- 主 管 校 北海道北見北斗高等学校
- 期 日 平成27年6月13日(土)・14日(日)
- 日 程

| 日          | 内 容       | 時 間                     | 会 場                        |
|------------|-----------|-------------------------|----------------------------|
| 13日<br>(土) | 安全互助会評議員会 | 9:30～12:30              | 北見市民会館<br>小木一郎             |
|            | 北海道高P連総会  |                         |                            |
|            | 受付        | 12:30～13:30             |                            |
|            | 開会式・表彰式   | 13:30～14:30             | 北見市民会館                     |
|            | 講演        | 14:30～16:00             |                            |
| 14日<br>(日) | 教育懇親会     | 17:00～17:30             | ホテル黒部                      |
|            | 受付        | 17:30～19:00             |                            |
| 14日<br>(日) | 分科会       | 9:00～9:30<br>9:30～12:00 | 北海道北見北斗高等学校<br>北海道北見柏陽高等学校 |

## ●会 場 北見市民会館 他

## ●大会主題・趣旨

※道高P連で検討中

## ●大会メッセージ

「響け オホーツクの青空へ 未来を担う 子どもたちへの応援歌」

## ●部会構成と研究協議

- ・30～35名程度で37グループを構成し、情報交換・意見交換を行う。
- ・各分科会でテーマを設けるが、参加者の意向を踏まえて進行する。
- ・分科会 北見北斗高等学校会場 19分科会  
北見柏陽高等学校会場 18分科会  
合計37分科会

## ●講 演 演題 ……「ご飯にしよう」

講師 西村 淳(元海上保安官 第30次・38次  
南極越冬隊 南極料理人)

●費 用 参 加 料 4,000円、集録代 1,000円、  
懇親会費 5,000円

## ●参加申込 送付先 (株)近畿日本ツーリスト 北見支店

「第65回北海道高等学校PTA連合会大会  
(北見大会)」係

〒090-0040 北見市大通西2丁目6番地

フミヤビル1階

TEL 0157(61)5311 FAX 0157(25)7985

## ●申込み切 平成27年4月28日(火)必着

●事 務 局 北海道北見北斗高等学校内 高P連第65回大会  
(北見大会)事務局

〒090-0035 北見市北斗町1丁目1番地

TEL 0157(24)3195 FAX 0157(24)3197

## 四月から共済事業がスタート

### 一般財団法人 北海道高等学校安全互助会 ～高校生活とPTA活動に安心と充実を～

道高P連により設立された北海道高等学校安全互助会の共済事業が、いよいよ四月からスタートします。昨年九月の北海道教育委員会からの事業認可後、地域別説明会や学校訪問などを実施してきました。皆さんから寄せられたご支援ご協力を感謝します。

一月、各学校に「共済事業のご案内」や「共済事業の手引」を送付しました。「共済事業のご案内」は概要を掲載したものですので、詳細の説明は「共済事業の手引」の内容によって下さる。各学校ではこれらの資料をもとに、PTA役員会を開催するなどして議論を深めたと伺っております。

また、本会が実施する共済事業は、災害ゼロを目指す安全や健康に関する普及啓発活動なども含んでおり、充実した活動となるよう準備を進めているところです。

**ホームページがスタート**

本会のホームページがスタートしました。

「ホームページがスタート」と題して、本会のホームページが完成しました。このページでは、本会の活動内容や、PTA活動の紹介、各種の資料などを掲載しています。また、PTA活動の紹介では、PTA活動の特徴や、PTA活動の意義についても詳しく説明されています。

**Q & A**

**A** 北海道高等学校安全互助会が設立され、共済事業を行う経緯を教えて下さい。

**Q** 北海道高等学校安全互助会では、「学校の管理下」の生徒の災害に給付される日本スポーツ振興センターからの見舞金を補うことを目的に、昭和六十二年に安全互助会を設立し、共済事業を行つてきましたが、保険法の改正により業務を停止し、平成十九年に民間会社が運営する「災害補償制度」を導入しましたが、加入者減などの課題を抱えていました。

**A** 本会の共済事業の特徴は、旧安全互助会と同様の「学校の管理下」に生徒が被つた災害に対するスポーツ振興センターからの給付の上乗せだけでなく、これに加えて、「PTAの管理下」の生徒とPTA会員も対象にしていることです。

**Q** 災害を被つても共済金が支払われないのはどんな場合ですか。

**A** 本会の共済事業は平成二十七年四月以降に発生した災害を対象にしていますので、それよりも前に発生した災害については、本会が対象にしません。

その後、PTAの手による共済事業を望む全国から

道高P連により設立された北海道高等学校安全互助会の共済事業が、いよいよ四月からスタートします。昨年九月の北海道教育委員会からの事業認可後、地域別説明会や学校訪問などを実施してきました。皆さんから寄せられたご支援ご協力を感謝します。

「共済事業の概要（案内パンフレット、共済約款、事業方略書など）、加入・請求手続き（第1号様式から第14号様式はダウンロードして利用することができます）、報告・計画（事業報告や事業計画）、役員（理事・監事・評議員名）や安全互助会よりなどが掲載されていますので、ご活用下さい。

そこで、道高P連では現在の「災害補償制度」を廃止し、新たに北海道高等学校安全互助会を立ち上げ共済事業を行うこととしました。これらの経過を考えますと、安全互助会を全道のPTA会員の手でしっかりと支え育していく必要があると思います。

**Q** 「PTAの管理下」として認められるPTA会員が自宅と会場の間を移動する場合とはどのような場合ですか。

**A** PTA会員が自宅とPTA行事が実施される会場との間を合理的な経路（一般的には最短距離）と方法で移動する場合であり、私用で別の場所に立ち寄りして経路を外した場合は対象外です。

**Q** 二月に発生した災害で四月以降もスポーツ振興センターの給付が続いているときはどのように取り扱われますか。

**A** 本会の共済事業は平成二十七年四月以降に発生した災害を対象にしていますので、それよりも前に発生した災害については、本会が対象にしません。

が主催・共催する活動中の災害であれば本会は給付の対象となります。また、「PTAの管理下」のPTA会員の災害についても共済の対象にしましたのでPTA活動の活性化の一助ともなるうかと思います。

定められた運転資格を持たないで自動車等を運転している場合」や「被共済者が腰痛その他の症状を訴える場合であっても、それを裏付けるに足りる医学的所見のないもの」などです。

マークに応募した中から、別海高校一年の小倉優生さんの作品を原図として採用して、ロゴマークが決定されました。マーク中央にある原図の四つ葉のクローバーは、すべての人々が幸せに生きていくことを願い、緑色は高校生の将来性と健全な成長を象徴しています。また、中央部の文字「安」は本会が目指す人々の安全と安心、文字の白色は本会が公正公平に運営されることを表しています。

この原図を道高P連のロゴマークと同様に外形を北海道の略地図で囲み、本会が道高P連とともにあゆむことを象徴しました。

ロゴマークを決定

